

撮影された動物の個体数を集計したところ、全調査地点で合計2,368個体、そのうち哺乳類は2,220個体であった(表1)。 最も個体数が多かった種はタヌキの403頭で、次いでカモシカ305頭、ハクビシン218頭、キツネ210頭、アナグマ209頭と

続いた。正確な種まで同定できた確認種数は哺乳類14種、鳥類18種であった。 哺乳類について、撮影個体数が特に多かった調査地点としては、29:181個体、28:136個体、20:121個体などが挙げられる。また種数を見ると、1・15・24・27・30:11種と最大で、次いで8・12・23・25・29・31:10種という結

ニホンジカについては、3箇所から合計6頭が撮影され、性別は全てオスで、メスは確認されなかった。外来種については、 分布拡大が懸念される種のハクビシンが20箇所から合計218頭撮影された。





ニホンジカみ(1:10月13日)

ニホンジカみ(8:10月15日)

ハクビシン(28:7月13日)

問い合わせ

東北森林管理局 津軽白神森林生態系保全センター 〒038-2761 青森県西津軽郡鰺ヶ沢町大字舞戸町字東阿倍野70-82 TEL:0173-72-2931 FAX:0173-72-2932

≪原本(データ)の帰属について≫

- 「公開レベル」「保管形式」「保管場所」については記入しないこと。 注1)
- ドロップダウンリストから該当する項目を選択すること。
- 注3) 該当する項目の口をクリックし、チェックを入れる。

